

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

国 語

	生徒の学習状況についての実態 (定期考査等の結果も含む)	全国、東京都および練馬区の学力調査と学校の結果分析	内容別・観点別の分析
1年	漢字学習に意欲的に取り組み習得に努めている生徒が多いが、似た形の漢字や同音異字の書き間違いが目立つ。漢字の意味や形に注目させ、効果的な学習を意識づけたい。小学校で学習する漢字が定着していない生徒もいるので、家庭学習の習慣をつけさせることが課題である。朝読書への取り組みはよい。	/	意欲的に取り組む生徒が多いが、読解力や文章表現力には個人差がある。物事を論理的に説明したり書いたりすることが苦手な生徒も多いので、文章構成のポイントの指導等で能力の向上を図りたい。
2年	入学当初はワークや提出課題の取組が十分にできなかった生徒も、設定された課題については意欲的に取り組もうとするようになってきた。一方で、自分で課題に向き合えず、学習の補助が必要な生徒も1割程度存在する。学力差が大きい。	すべての項目で都の学力調査平均を5%前後上回っている。読み解く力に関しては10%以上上回っているので、基礎的な力は定着していると言える。技能の中の書く力について、都平均に近い値なので、今後はより伸ばしていくようにする。学力的に厳しい層もあるので、底上げを図っていく必要がある。	関心・意欲・態度の状況は良い。知識・理解については、個人差が大きい。読解力については、授業の中でも指導法を工夫していくことで、伸ばしていく必要がある。表現する力は、書くトレーニングや話し合い活動をする場면을積極的に設けることで向上させたい。
3年	漢字の練習、小テストが軌道に乗ったように思う。取り組みがよくなってきた。関心・意欲・態度、書く力、知識・理解はよい方だが、自分の考えを発表できない生徒が多い。朝読書への取り組みはよい。	都の学力調査ではすべての項目で平均を上回っている。教科の内容、読み解く力に関する内容において10ポイント以上、上回っている。おおむね学力は定着していると考えられる。今後は基礎学力が定着していない生徒への指導に力をいれたい。	関心・意欲の高い生徒が多い。能力をもっと伸ばすために漢字の練習、小テストは続けたい。また書く作業を増やしたい。自分の意見を的確に伝えるための指導を続けていきたい。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式 2）

社 会

	生徒の学習状況について の実態 (定期考査等の結果も含む)	全国、東京都および練馬区の学 力調査と学校の結果分析	内容別・観点別の分析
1年	授業への取り組みは真面目であり、ワークシートや課題では自らの考えを自らの言葉で表現しようと熱心に取り組んでいる生徒が多い。また、テスト前の質問教室の参加率も高い。一方で、できる生徒とできない生徒の差が激しいのも実態である。		関心・意欲・態度は高いが、知識・理解や資料活用能力には大きな個人差がある。毎回の授業でのプリントや個別指導によって定着を図っていく。また、今まで学んだことを踏まえて、自分の新たな考えに結びつけ、表現する機会を授業の中で設けたい。
2年	授業態度は非常に真面目で、一生懸命に勉強に励んでいる。レポートなどの課題も真剣に取り組む、すばらしいものが多い。テスト前の取り組みも多くの生徒が頑張っている。しかし、日常の家庭学習が定着していない生徒もいるので、定期考査の結果で現れている。底辺の生徒の底上げを図りたい。	読み解く力に関する内容については、都の標準を5%程度上回っているが、教科の内容については、2%程度下回っている。特に、観点別の結果で知識・理解についてもっと生徒の能力を高めていく必要を痛感する。各クラスの底辺部の底上げを図っていくことがこれからの課題となる。	関心・意欲・態度に関しては、おおむね良好とみられるが、社会的事象についての知識・理解、資料活用の能力については個人差があり、底辺部の生徒の底上げを図る必要がある。一つ一つの社会的事象をしっかりと考えさせ、思考・判断の能力を高めさせるとともに、それを表現する能力も高めていきたい。
3年	全体的に授業への取り組みがよくなってきた。家庭学習をきちんとする生徒が多くなった。全体によい成果が出ている。一部には知識・理解や思考・判断の面で個人的な指導が必要な生徒がいる。	全国平均に比べて、ほとんどの項目で上回っている。観点別で正答率は目標値と比較して上回っている。地理的分野の正答率が低い。1・2年生時の復習を取り入れていきたい。また、資料活用の能力し、思考・判断・表現の能力を高めたい。	興味・関心・態度は、比較的高い。知識・理解能力もほとんどの生徒が高い。課題としては、資料を活用し、物事を多面的・多角的に物事をとらえ、思考・判断し表現する力であり、そのため授業の中でトレーニングを積み、能力を高める必要がある。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

数 学

	生徒の学習状況について の実態 (定期考査等の結果も含む)	全国、東京都および練馬区の学 力調査と学校の結果分析	内容別・観点別の分析
1年	授業の雰囲気は、発言も多く意欲的な生徒が多くみられる。一方で、復習する習慣がない生徒が多く、学習内容の定着には課題がある。そのため、出来る生徒と出来ない生徒の差が大きい傾向がある。夏期補習やテスト前の補充教室などを利用して、基本的な学力の向上を目指していく。	/	関心・意欲・態度は、全体的に高く、授業や課題に対して真剣に取り組む生徒が多く見られる。知識・理解は、授業内での理解は出来ているが、復習をしないためになかなか身につかない生徒が多い。技能についても、基本的な内容の定着が不十分なため、うまく活用できていない生徒がいる。見方・考え方については、特に文章問題の読み取りが苦手な生徒が多い。授業内でもしっかりと時間をかけて、多くの問題に取り組ませながら、文章を読む力の定着を図る。
2年	授業態度は良く、発言も積極的にする。ノートも真面目にとる。しかし、一部の生徒は、既習事項を復習する習慣がないため、学習内容が定着しない。できる生徒とできない生徒の差が激しいので、夏期講習やテスト前に補習を行うことや、復習をする習慣をつけさせることで低学力の生徒の学力を向上していく必要がある。	「教科の内容」については、おおむね満足することができる。「関心・意欲・態度」については、とても高い正答率が出ているが、「思考・判断・表現」は他の項目に比べて、やや低い水準となっている。また、「読み解く力に関する内容」に関しては、「読み取る力」が低い。今後の課題は、興味関心をいかに思考判断につなげていくか、文章から問題を読み取るかという点である。	「関心・意欲・態度」に関しては、全体的に高いが、「知識・理解」に関しては、授業では理解するが、きちんと定着していない生徒もいる。「技能」についても問題をこなす量が少ないために低い生徒がいる。基礎・基本的なことをもう一度学習し身につけさせて定着を図る。「見方・考え方」についても文章が読み取れず問題を解けない生徒がいる。文章を読む力を身につけさせ、多くの問題に取り組ませ、定着を図る。
3年	授業態度はとても良く、ノートも真面目にとる。しかし、一部の生徒は授業で教わった内容を復習する習慣がないので、学習内容が定着しない。できる生徒とできない生徒の差が激しいので、夏期講習やテスト前に補習を行うことや、復習をする習慣をつけさせることで低学力の生徒の学力を向上していく必要がある。	「技能」・「知識・理解」の分野は高くおおむね満足できるといえる。「解決する力」に関して課題があり、文章を読み取り、情報を正確に処理する力が低いと考えられる。また、既習事項が定着していないことにより、問題の意味が理解できていない生徒もいる。習ったことの復習をすることが今後の課題である。	「関心・意欲・態度」に関しては、全体的に高いが、「知識・理解」に関しては、授業の中では身につけようとするがきちんと定着していない生徒がいる。「技能」についても問題をこなす量が少ないために低い生徒がいる。基礎・基本的なことをもう一度学習し身につけさせて定着を図る。「見方・考え方」についても文章が読み取れず問題を解けない生徒がいる。文章を読む力を身につけさせ、多くの問題に取り組ませながら定着を図る。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式 2）

理 科

	生徒の学習状況について の実態 (定期考査等の結果も含む)	全国、東京都および練馬区の学 力調査と学校の結果分析	内容別・観点別の分析
1 年	<p>・意欲をもって実験観察に取り組んでいる生徒が多い。基礎的な知識は定着している生徒が多いが、計算や科学的なものの見方、考え方を問う問題に対して、不得手である。</p>		<p>理科に対して関心、意欲が高く、実験、観察の取り組みも概ね良好である。実験観察の基礎操作の習得は IT を活用し、丁寧に指導する必要がある。科学的思考、表現は定期考査の記述問題や実験報告書の結果の整理、考察において、今後、繰り返し指導の必要がある。</p>
2 年	<p>・実験観察に意欲をもって取り組み、基礎操作の習得も概ねできている。基礎的な知識は定着している生徒が多いが、計算や科学的なものの見方、考え方を問う問題に対して、自ら問題解決する姿勢が乏しい生徒が多い。</p>	<p>知識を活用して科学的にものごとを考えることに課題がある。</p>	<p>基礎的な知識は概ね定着している。しかし科学的思考、表現は定期考査の記述問題や実験報告書の結果の整理、考察において、自ら問題解決することが苦手である。今後も時間をかけて取り組むことが課題である。</p>
3 年	<p>・実験、観察に意欲的に取り組む生徒が多く、実験結果から自然事象を考察しようとする態度は概ね身につけている。実験結果を定量的にまとめ、自然事象を科学的分析し解釈することが今後の課題である。</p>	<p>学年全体の学力調査結果は概ね良好である。しかし、学習してから間もない気象領域の定着が低い。また、正答率 40% のところにひとつピークがあり、基礎的な学習内容が定着していない生徒が少なからず見受けられ、今後の課題である。</p>	<p>自然事象への関心・意欲は高く実験、観察に取り組む態度も良好である。実験器具の基礎操作は概ね身につけている生徒が多い。しかし、実験、観察の結果から自然事象を科学的に分析し、解釈することに自ら取り組める生徒は少数であり、今後の課題である。</p>

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

音楽

生徒の学習状況についての実態（定期考査等の結果も含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね落ち着いて話を聞き、授業に取り組むことができている。 ・クラスによって、男子が音楽表現に意欲的なクラスと、女子が音楽表現に意欲的なクラスがある。男女ともバランスよく意欲・表現力を高めることが課題である。 ・音楽が表現しているものを感じ取る力はあるが、それを他者にも分かるよう言葉や文章にすることにやや課題がある。基礎的な音楽用語や記号についての知識が不足している生徒も多い。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね落ち着いて話を聞き、授業に取り組むことができている。 ・音楽表現することに対してまじめに意欲的に取り組んでいる生徒が多い。しかしややおとなしく、今以上に豊かな声量で合唱することが目標である。 ・曲想を感じ取ったり、表現を工夫したりすることに関して、自分の考えをもち言葉で伝えることが苦手な生徒が多かったが、繰り返し行うことで少しずつできるようになってきた。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて話を聞く、集中するという点で課題のある生徒もいる。 ・音楽表現に対して意欲的な生徒が多く、特に歌唱ではのびのびと表現できており、合唱に対する意欲が高い。自分たちで音楽をつくらうという意欲も高い。 ・音楽に関する用語や記号についての理解が十分でないことから、曲想を感じ取ったり表現を工夫したりすることに関して、自分の考えをうまく言葉にできない生徒も見受けられるが、繰り返し行うことで少しずつできるようになってきた。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

美術

生徒の学習状況についての実態（定期考査等の結果も含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた様子で座学、作業、共に集中して作業に臨んでいるが、一つの作業に要する時間が長い。より効率的に計画性を持った作業を意識させることが必要となる。 ・クラスによっては発言が少ないが、全体的にはよく考えて自身の考えを述べるができている。 ・座学になると集中力が欠けてしまう生徒もいる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に作業をコツコツとこなす生徒が多い。 ・提示したルールを基に集中して作業し、間違えた際には互いに声がけをしながら作業することができる。 ・移動を要する作業がある際には集中に欠けてしまう生徒もいる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・元気が良く発問に対して自分なりの考えを発言することができる生徒が多い。 ・他者の作品への興味が高く、互いに良い作品を認め合うことができている。 ・作品を仕上げる意識がかなり高くなったように感じる。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

保健体育

生徒の学習状況についての実態（定期考査等の結果も含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・男女とも、どの種目に対しても意欲的に取り組むことができる。 ・特に水泳の授業はほとんど見学もなく、熱心に取り組むことができた。 ・運動能力は男子より女子の方が優れている生徒が多い。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて授業に取り組むことができている。 ・水泳が苦手な消極的な生徒が一部いるが、概ね意欲的に取り組むことができている。 ・運動会など体育的行事を通して心身ともに成長してきている。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に、意欲的に取り組む生徒が多い。 ・忘れものも、ほとんどない。 ・運動会、マラソン大会など、体育的行事を通して、体力向上とともに、精神的に大きな成長が見られる。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

技術・家庭

生徒の学習状況についての実態（定期考査等の結果も含む）	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や指示を聞き、落ち着いて活動することができる。発問に対する反応もよい。 ・忘れ物が多かったが、徐々に改善してきている。 ・課題の進め具合や、指示の理解度に関する個人差が激しい。作業などでは、個別に対応をとらなければならない生徒につきっきりになってしまうことも少なくない。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組むことができる。 ・授業内の定められたルールに基づき、班で協力して活動しようとしている。 ・教科書の本文や表から必要な内容を書き出すという作業や、説明を受けた後に手順表やできあがり図を見ながら作業することが難しい。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組み、発問に対する反応もよい。 ・手順にそって、作品や課題を丁寧に仕上げようとする。 ・班での活動になると集中力にやや欠ける場面も見られる。

生徒の実態および定期考査等を含む学力調査結果等に基づく内容別・観点別分析表（様式2）

英 語

	生徒の学習状況についての実態 (定期考査等の結果も含む)	全国、東京都および練馬区の学力調査と学校の結果分析	内容別・観点別の分析
1年	・学習や言語活動に意欲的に取り組む生徒が多く、落ち着いて学習している。ペアワークなどで積極的にコミュニケーションを取っているが、Writing面で苦手意識を持っている制とも少なくない。文構造やスペルなど定着していない面がある。		・Listeningは、おおむね満足できる。音読のReadingは、おおむね満足できる生徒が多いが、苦手意識を持っている生徒もいる。Speakingは、ALTとの会話などで臆することなく会話でき、発話もおおむね満足できる。課題はWritingで、文構造やスペルの定着を図る必要がある。
2年	意欲的に授業に取り組む生徒が多い。コミュニケーション活動にも積極的に取り組み、意欲が感じられる。音声面でも、大きな声で発音、音読などを行っている。しかし、自己表現などの書くことを苦手としている生徒が多い。	すべての項目で都の学力調査の平均を上回っている。読み解く力に関する内容では5.3p、関心・意欲・態度は8p、思考・判断・表現が東京都よりも14p、読み解く力の中の解決する力は8.4p、関心・意欲・態度は8p上回っている。読み取る力は1.6pで、最も都に近い。	思考・判断・表現は、40.4pで、東京都よりも15p近く上回っているが、関心・意欲・態度の83.8p、技能の77.4pに比べると、極端に低くなっている。これからは、自己表現等、自ら発信する力をつけていく必要がある。
3年	多数の生徒が意欲的にコミュニケーション活動に取り組んでいる。英語を聞く活動や話す活動、自分の意見を書く活動にも慣れてきた。発表時に声が小さく聞こえにくい生徒が見受けられる。語彙の知識や文法の理解については差が見られる。	基礎・活用ともに目標値、区平均、全国平均の正答率を大きく上回っている。教科全体では目標値よりも12.8p、基礎は11.4p、活用は16.4p、それぞれ上回っている。 領域別では「聞くこと」の正答率が最も高く84.1pだが、「書くこと」では目標値より18.2p上回っている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」で13.6p、「外国語表現の能力」で18.1p（3文以上の英作文で23.1p）、「外国語理解の能力」で11.2p、「言語や文化についての知識・理解」で11.4p（語形・語法の知識・理解が目標値との差が最も小さく2.4p上回っただけであった）上回っている。